



国際シンポジウム



# 史料 與 方法

日時

2017年11月25日(土)  
10:00—17:30

場所

一橋大学 東キャンパス  
国際研究館 4階大教室

国立市中 2-1 JR 国立駅南口左側進む徒歩 7分

入場自由 来聴歓迎 通訳あり

お問い合わせ 鈴木将久 m.suzuki@r.hit-u.ac.jp

<http://gensha.hit-u.ac.jp/>

## 報告

10:00-10:30 主催者挨拶

坂井洋史 (言語社会研究科長)

文貴良 (華東師範大学中文系副主任)

### SESSION 1

10:30-10:50 魏 泉 (華東師範大学)

《“題圖詩文”の交遊功能與輿論空間》

10:50-11:10 湯志波 (華東師範大学)

《由詩到詞：明清《江南春》唱和與文體誤讀》

11:10-11:30 王冉冉 (華東師範大学)

《紅學研究中史料運用的方法論反思》

11:30-12:00 コメント/ディスカッション

### SESSION 2

13:00-13:20 鳳 媛 (華東師範大学)

《“欧化”與“漢化”：施約瑟主教的漢譯《聖經》實踐與  
聖約翰大學早期的國文教育》

13:20-13:40 褚瀟白 (華東師範大学)

《關於《耶穌是什麼東西》的現代意識形態神話》

13:40-14:10 松原真 (一橋大学)

《黑岩涙香の讀者改革》

14:10-14:40 コメント/ディスカッション

### SESSION 3

15:00-15:20 近藤光雄 (大妻女子大学)

《巴金與西方倫理學——從居友、克魯泡特金談起》

15:20-15:40 杜心源 (華東師範大学)

《“風景”中的他者——重審北島與“世界詩”的論爭》

15:40-16:00 白井魁 (一橋大学・院)

《「過去」如何成爲「歷史」——以戰後臺灣文學史書寫爲例》

16:00-16:20 文貴良 (華東師範大学)

《周作人的文言實踐：漢語造型與文體感知》

16:20-17:00 コメント/ディスカッション

17:00 閉幕挨拶 鈴木将久 (一橋大学)

## 主催

一橋大学言語社会研究科

華東師範大学中国語言文学系